



井上わたるの

県政報告

配るホームページ第42号

あなたは 74万6751 番目の読者です。

前号までにお届けした枚数です。



1 健康長寿埼玉プロジェクトについて

- (1) 健康長寿埼玉プロジェクトの今後の取組
- (2) ソーシャルキャピタルを生かしたプロジェクトの推進

2 「日本一の共助県づくり」について

3 小児医療について

- (1) 退院支援と小児在宅医療
- (2) 志木市立市民病院

4 教育課題について

- (1) 給食におけるアレルギー対策
- (2) グローバル人材の育成
- (3) 奨学金について

5 県の水施策について

- (1) 水不足への対応
- (2) 湧水の保全・復活

6 インターネットを利用した選挙運動の解禁について

7 国道254号和光富士見バイパスの早期完成について

今回の一般質問で取り上げたテーマはこちらです

今日は6月定例会の報告をしたいと思います

皆さん こんにちは 毎日暑いですね



1

私は今回の定例会で一般質問を行いました 質問の翌日には新聞記事にも取り上げられました

平成25年6月18日(火) 埼玉新聞朝刊より

2



井上航氏(刷新の会 和光市)

「人の絆」重視の事業へ

【質問】「健康長寿プロジェクト」のモデル都市に指定されている和光市、東松山市などの5市を視察した。同プロジェクトは地域づくりや仲間づくりに効果があると感じた。春部の事例では「団地内で始めた「健康づくり」事業を成功的に、自治会加入率が上がった。団地外との交流も増えた」という。最近、ソーシャルキャピタルといわれる近隣の人への信頼、地域貢献する規範、近所付き合いやサークル活動のネットワーク

くつながった人の絆の豊かさは健康といわれています。ソーシャルキャピタルを重視しプロジェクトを推進してはどうか。

【知事】ある医師は、住民が自健康に対する意識を持って、支え合って健康づくりをするような地域が出来上がっていることは、医療費などの問題に片が付くと主張している。ソーシャルキャピタルの視点は、どうものだと認識している。

ちゅうとした支え運動が効果的だ。健康づくりは、どういったことを、それぞれが工夫し改善していくことが大事だと思う。全体でもっといろいろな取り組み者に恵まれることも大事だと思うので、県は役に立つ健康情報を自ら身付け、実践するサポーターを養成していることを求めた。

武内、浅野目、井上氏が登壇

県議会一般質問

6月定例会(6月17日)一般質問が行われ、武内政文(民・毛呂山町)、浅野目義典(民主・無所属の会、さいたま市浦和区)、井上航(刷新の会、和光市)の3氏が登壇した。

武内氏は八高線の活性化や国際交流の在り方などについて質問。浅野目氏は県公立高校入試の難易度や県立行政などについて聞き、井上氏は健康長寿埼玉プロジェクトや県の水施策などについて答弁を求めた。

知事は今年度からモデル都市となっている和光市についても触れ

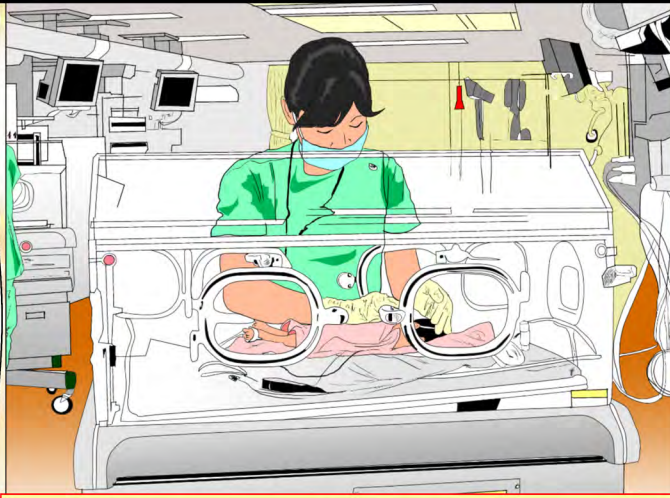
「市が中心となり企業も巻き込んで健康づくりを進めていて斬新な取り組みをしている。自治体と企業のコラボによる成功事例として全国のモデルになればいいと考えている」と答弁

県が和光市の成果に注目して語られました

まず 「健康長寿埼玉プロジェクトの今後の取組」について尋ねたところ

4





次に「**小児医療**」の
 退院支援と小児在宅医療です
 近年 医療の進歩に伴い
 新生児の救命率が改善されています
 しかし一方で後遺障害が残る
新生児集中治療室(以下、NICU)に
 長期入院するケースが増加しています

入院の長期化はNICU病床数の
 不足を招き緊急を要する母体や
 新生児の受け入れが困難になります

そこで私はNICUからの
 退院支援と退院後の
 小児在宅医療の充実を訴えました

埼玉県内 NICUの長期入院実態
 90日以上入院 9人
 1年以上入院 2人 (平成24年4月時点)
 【参考】NICU入院児童 平均在院日数 16.4日(平成23年度)



医師



学校・市町村等



両親と子



看護師



福祉サービス



ソーシャルワーカー

県からは今後
 ・医師、看護師、ソーシャルワーカー等が
 参加する多職種連携による症例検討会の開催
 ・乳幼児ケアのスキルアップ研修
 (訪問看護ステーションの看護師に実施)
 を行い小児の在宅医療体制の充実を
 図ると答弁がありました

そこで県は現在
 小児在宅医療を支える
 取組(※)を行う医療施設に
 対して経費助成をしています



しかし小児の在宅医療は
 高齢者と比べ体制の
 整備が遅れています

在宅医療体制の構築にあたっては
 地域の医療・福祉資源を把握し
 関係者同士顔の見える関係づくりが重要です!

※ =取組の具体例=
 ・保護者が家庭で人工呼吸器等を
 使用するためのトレーニング
 ・家族がリフレッシュできるよう
 NICUを退院した児童を一時的に預かる

また私は昨年の調布市の
 小学校の事故を受け
 「給食における
アレルギー対策」に
 ついても質問しました

そして緊急時における
 迅速な対応のために
 千葉市等で導入されている
**学校と地域の消防との
 連携強化**についても提言し

県は今後学校等に対して
 アレルギーを持つ児童生徒の
 情報を地域消防に提供するよう
 徹底する、としています



【参考】
 千葉市教育委員会
 「学校における食物アレルギー
 対応の手引き」より引用

この他、医療体制の整備については
 救急搬送までの時間短縮のため
**医療機関ごとの受入状況を救急隊が
 タブレット端末で共有するシステム**を
 導入する補正予算も組まれました



県民の命を守るために提言を
 今後も議会の場で重ねてまいります!



この他、一般質問では「湧水の保全・復活」について質問しました。

和光市は豊富な湧き水をたたえ、かつて「白子宿」は川越街道の宿場として栄えた歴史もあります。また絶滅危惧種の「ミョウテンジカワモズク」が生息するなど湧き水がまちづくりや生態系の中心を担ってきました。こうした和光市の歴史も踏まえ、湧き水を保全するには、まずは調査と実態把握が不可欠である！と訴えました。

これに対して、県環境部からも県内湧水の実態調査に向けた前向きな答弁がありました。今後も湧水の保全・復活のため、県に協力を呼び掛けていきます。



写真は「白子湧水群」

委員会報告

県議会には常任委員会と特別委員会があり、いずれも1年毎に所属が変わります。これまでの2年間では「福祉・医療」「自然再生」「産業・観光」「災害対策」等の分野に携わってきました。今年度は次の2つの委員会に所属し、6月定例会から早速審議を行っています。

～県土都市整備常任委員会～

今回の委員会では県土整備部から「通学路の安全対策」について報告がありました。

平成23年に2,632校の学校等を対象に“通学路の総点検”を実施。その結果、県管理道のうち整備可能な**694箇所**について順次安全対策を実施しています。昨年度通学児童が犠牲になる交通事故が多発したことを受け、安全対策を前倒しして実施中。既に、平成24年度末までに**514件**について対応を行いました。

⇒和光市では、オリンピック道路の防護柵設置など合計27件について対応を行いました。

そして、埼玉県はHONDAと協力して、カーナビデータ分析によって急ブレーキ発生箇所等を特定し、通学路の安全対策に活かしています。(本年度は50箇所の対策を予定) こうして蓄積されたデータは現在「SAFETY MAP(セーフティマップ)」として誰でもホームページで見られます。皆様が発見した危険箇所情報を書き込み、共有することもできます。埼玉県が全国に先駆けて導入しているこの取組をもっと県民に活用してもらうよう県が更なるPRをするように提言しました。



<http://safetymap.jp/>

視察報告



福岡市 新西部水処理センター
下水道分野の海外展開と建設中の水処理施設を視察。



豊後高田市 昭和の町
昭和30年代から変わらぬ懐かしい街並みを活かした市街地景観形成を視察。



東九州自動車道 建設現場
埼玉県では圏央道を現在建設中です。他の高速道路整備を施策推進に活かすために視察。

この他、大分県日田市の「かわまちづくり事業」や平成24年7月九州北部豪雨で被害を受けた河川・橋梁等を視察しました。視察成果を今後の委員会審議に活かしてまいります。

～地方分権・行財政改革・新都心整備特別委員会～

この特別委員会では、1年間を通して地方分権の推進、行財政改革、さいたま新都心の整備及び魅力ある地域づくりに関する総合的対策について審査します。

今回の委員会では、道州制や国から地方への権限移譲といった“**地方分権改革**”について審議を行いました。なかでも道州制については、埼玉県が県民向けに行う情報発信が他県に比べ不足している点を指摘し、更なる意識醸成を促す取組が必要であると提言しました。



この他、6月定例会では下記をはじめとする様々な議案が**可決・成立**しました。

● 平成25年度埼玉県一般会計補正予算 33億6,343万円

マンガで紹介した救急車へのタブレット端末配備の他、

- ・ 高校生の就職ミスマッチ防止のための教育支援コーディネーター配置
- ・ 青色回転灯防犯パトロール、性犯罪抑止パトロールの強化 等

● 青少年健全育成条例の一部を改正する条例

(概要) スマートフォンによるインターネット上の有害情報の閲覧制限対策を充実させるため、携帯電話事業者等に対しフィルタリングの説明義務を課す。

● 知事、県職員及び学校職員の給与等を減額する特例 など

この他、厳しい財政状況を鑑み職員の給与減額を行う中で、議員の報酬も削減すべきであるという考えから、議員提案で職員と同じく来年3月まで**議員報酬削減を行う条例案**が議論されました。私の所属する「刷新の会」はこの案に賛成しました。他党派の反対多数で成立しませんでした。今後刷新の会では、議会改革の必要性を訴えてまいります。



埼玉県マスコット「コバトン」

埼玉県では県政の様々な情報を「彩の国だより」で、県議会の動向を「埼玉県議会だより」でお知らせしています。この『配るホームページ』と併せてご覧ください。

井上わたるの茶話会



日時：8月25日(日)

14時～16時まで

場所：本町地域センター4階会議室

内容：6月定例会 報告
福島県視察報告 など

参加費、事前予約も必要ありません。
初めての方もお気軽にお越しください。



ホームページもご覧ください！

井上わたる

検索

<http://inouewataru.com/>



◎ 埼玉と和光の政治をわかりやすく伝えます！

「井上わたるの和光ブログ」

<http://inouewataru.blog.shinobi.jp>

twitter や
facebook も活用中！

※このチラシは多くの方の協力によって配布しておりますが、投函を希望されない方は右記事務所までご住所・お名前をお知らせくださいますようお願い致します。

発行：埼玉県議会議員 井上わたる

連絡先：井上わたる事務所（刷新の会 和光支部）
〒351-0112

埼玉県和光市丸山台1-10-18 アントワープ平岡
503号室（ドラッグストア「内観堂」の5階）

TEL 048-424-3684

FAX 048-424-3854

E-mail inoue_airline@yahoo.co.jp